

施策評価シート

評価年度	令和元年度	事業実施年度	平成30年度	施策主管次長名	都市建設部次長 小嶋 誠		
施策番号	61	施策名	誰もが安心して出かけられるまち			総合計画掲載頁	86
関係課名	道路河川課、企画政策課、長寿介護課						

1. 施策の概要

施策の目的	対 象	対象指標名		単位	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標	
		・市民 ・幹線道路	①	人口	人	61,070	61,356	61,153	61,604	-
			②	都市計画道路延長	Km	66.9	66.9	66.9	66.9	-
	③									
意 図	誰もが安心して出かけられるまちにする			成果指標名	①	さんさんバスの利用者数				
					②	都市計画道路整備率(整備済延長／計画延長)				
					③	歩道付道路の整備率(整備済延長／計画延長)				
					④					

2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	さんさんバスの利用者数	人/年	310,000	286,191	288,000	277,342	278,000	262,000
①	指標設定の考え方と把握方法	利用者数の推移により公共交通の利便性を図るため利用者数を指標とした。事業者からの報告により把握						
指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	都市計画道路整備率(整備済延長／計画延長)	%	79.1	79.1	80.6	80.6	80.8	82
②	指標設定の考え方と把握方法	幹線道路が整備されることにより通勤や輸送など移動が円滑にできるようになったことから、その整備率を指標とした。整備率は担当課						
指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	歩道付道路の整備率(整備済延長／計画延長)	%	90.4	90.2	90.3	90.4	90.4	91.0
③	指標設定の考え方と把握方法							
指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
④	指標設定の考え方と把握方法							

3. 施策の評価

項目		評価のコメント				
施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	・自動車依存から公共交通などへのシフトにより、地球環境にやさしいライフスタイルへ転換する。 ・身近な生活道路の清掃、草刈りを行い、道路の不具合等すみやかな連絡等に協力する。				
	行政	・公共交通網の整備・拡充を進め、地球環境にやさしいライフスタイルへの転換を支援する。 ・幹線道路や歩道の整備を計画的に推進し、生活道路も含め適正な維持管理に努める。				
達成度評価	近隣との比較	・他市町のコミュニティバスとは、公共交通機関の事情が異なるため単純比較はできない。 ・幹線道路や歩道の整備を計画的に推進し、生活道路も含め適正な維持管理に努める。				
	過去3年間の実績との比較	・さんさんバスの利用者は、平成30年度末では前年比8,849人減少したが、年間28万人の利用がありH31目標の27.8万人を超えている。 ・都市計画道路の整備は、平池天王台線の進捗が進み、3年間で2.5%上昇している。 ・また、歩道付道路の整備率は、明知鏡塚線の完了により、3年間で1.0%上昇している。				
現状と課題		・公共交通を生活軸とする利用者の利便性向上のため、さんさんバスをはじめとした公共交通網の充実や、高齢者等への優遇制度の整備が望まれる。 ・道路施設管理者として、地域の特性に合わせたカーブミラーの設置や歩行者分離など安全対策を進めている。 ・都市計画道路の整備は、市では中心市街地の3つの路線を事業中だが、用地取得が進んでいない路線がある。 ・県道では、交差点改良や拡幅路線について事業中だが、地権者同意や用地取得など完了までに事業期間がかかる。				
課題を踏まえた今後の取組の方向性		(今後の取組の方向性) ・コンパクトシティ化の軸として、今後さらにさんさんバスを始め公共交通の利便向上に努める。 ・人にやさしく安全な道路環境整備をめざし、車道や自転車道の整備、歩行者道路のバリアフリー化など、全ての利用者に配慮した整備を進める。 ・都市計画道路の事業整備等を推進し、中心市街地の活性化を図る。				
市民意識	重要度	高い	満足度	低い	平成30年度市民アンケート調査による	